

岡崎百景通信 Vol.2

おかげの未来に伝える100の物語

平成27年5月



Contents

- 2 推薦人交流会レポート
- 4 ・ 近日開催イベントのお知らせ
・ 写真撮影ワンポイントレクチャー

■ 岡崎百景推薦人交流会（報告）

去る3月21日(土)、推薦人の懇親を目的とした岡崎百景推薦人交流会が開催されました。竜美丘会館に集合し、百景候補にも挙げられている「乙川堤防の菘桜」の景観づくりに尽力されている推薦人の三橋さんのお話(P.2参照)を伺った後、実際に乙川堤防へ移動し、菘桜のもとでピクニック形式のお花見をしながら参加された推薦人の皆さんが交流を深めました。

Information

■ 岡崎百景推薦人会議（参加必須）

日時

平成27年6月14日(日) **13:30-16:00** (終了予定)

場所

岡崎市福祉会館(岡崎市朝日町三丁目2)6Fホール

内容

百景候補の写真や推薦文などの作業の進捗の確認および意見交換を行います。
なお当日10~12時まで、同会場で相談窓口を開設しますので、会議に参加出来ない方も、ぜひご利用ください。

Report 岡崎百景推薦人交流会

「街中の風景は全て人がつくるもの」

葵桜を植えて思うこと

三橋 美千子

葵桜と彼岸花を育てる会 代表
岡崎百景推薦人



Data

日時：平成27年3月21日（土）14:00-16:00
場所：竜美丘会館301号室～乙川堤防
参加者：30名（推薦人20名+三橋さん知人10名）

百景推薦人交流会の前半には、推薦人のお一人でもあり、今や岡崎市民の宝物となった乙川堤防沿いの葵桜の発起人として景観づくりに尽力されてきた三橋美千子さんに、「市民がいかにして景観をつくるか」について、葵桜を植えるまでの経緯やこれまでの経験をふまえてご講演いただきました。

葵桜を植えるきっかけ

今から17年前の平成10年3月、葵カントリークラブ（幸田町）で外国人の友人8名と満開の葵桜を初めて見た三橋さんはあまりの美しさにとても感動しました。しかし、一緒に行ったイギリス人女性の方が「美千子さん、どうしてこんな綺麗な桜をもっと皆が自由に見られる場所に植えてないの？」と言ったそうです。三橋さんは思わず「アイ、シンク、ソウ！」と叫び、「私もそう思うわ。じゃあ家の前の乙川の堤防に植えよう、そうすれば誰でもいつでも自由に見られるわ。」と返事をしました。

「今度あなたが日本に来た時には、絶対に家の前にあの桜を植えておくから楽しみにしていてね。」と彼女と古い約束を交わし、その日から三橋さんの挑戦が始まりました。

シビックプライドの芽生え

葵桜を植えるにあたり、考案に考えた末に出した結論が、「市民から桜のオーナーを募り、一人一本2万円出してもらい、10年間は責任を持って育ててもらおう」というものでした。平成13年、行政との折衝など紆余曲折を経て、実際にオーナーを募集をしたところ、一週間足らずで85名が集まり、86本の桜を植えることができました。「自分のお財布からお金を出して、しかも10年間も大切に育てればイヤでも愛情が湧きます。自分達が育てた立派な桜並木があれば、まちに対する誇りや愛着が湧くでしょう。研修で「シビックプライド」についてお話がありましたが、まさにそれです。」

17年前、1人の市民が異国の友人と交わした約束が。現在では86本の葵桜に変わり春の乙川堤防を彩っています。にわかには信じられないような物語が、私たちのまちでも起きていたんですね。

※シビックプライド…都市に対する誇りや愛着を意味する。その都市をより良い場所にするために自分自身が関わっているという「当事者意識」を伴う自負心とも言えます。

葵桜の下でピクニック

交流会の後半では、乙川堤防へ移動し葵桜の下でピクニックを行いました。各自持ち寄った写真や資料を用いて、それぞれの推薦候補についてオススメのポイントや季節、見所、思い出などの紹介や、岡崎百景を盛り上げていく為に推薦人同士で行いたい取り組みについても話し合いがされました。

以下に岡崎百景を盛り上げていく為に推薦人から出されたアイデアをいくつか紹介します。

- ・スピンオフ企画…「私の学区の自慢のお菓子屋さん」を持ち寄って食べるなど、岡崎百景から派生（スピンオフ）した地域の自慢持ち寄り（情報交換）会
- ・カメラ講習会…スマホでのカメラ撮影術講座
- ・推薦候補ツアー…ウォーキングやスタンプラリーで候補を巡る
- ・模擬百景展示会…模擬展示を行うことで本番のイメージをつかむ
- ・推薦百景写真の持ち寄り会…写真をもとに物語を紹介しあう
- ・学習会…地域ブロックごとに歴史、地勢等の推薦候補の学習会を有志で実施



Topic

葵桜ガレージセール

毎年お花見のシーズンに三橋さんの自宅ガレージを使って開催されているガレージセール。売り上げ金は葵桜の維持管理等に充てられています。三橋さんが不要品の断捨離も兼ねて一度限りのつもりで開催しましたが、商品の提供者が続々と現れ、継続的に開催されています。今春だけでも150名以上の方の協力があったそうです。



ガレージセールの様子

推薦人へのメッセージ

今ある風景を写真に撮って残しておくことも大切ですが、それだけで満足していないで、自分で風景を作ること考えてみませんか。楽しいですよ。誰かにしてもらおうのではなく、常に今の自分に何が出来るのかを市民みんなが考えるようになれば、自分達のまち、岡崎に愛着が湧き、誇りに思える素晴らしいまちになっていくことでしょう。（三橋美千子）

Event

近日開催イベントのお知らせ

■青空クリエイターズフェスタ@籠田公園

日時:5月10日(日)10:00-16:00

場所:籠田公園および連尺通

H P:<http://aozora55.sunnyday.jp/index.html>

■能見神明宮大祭

日時:5月9日(土)10:30-20:00ごろ

10日(日)8:00-21:00

場所:能見神明宮(元能見町)および周辺の氏子町

H P:<http://www.nomi-shinmeiguu.com/>

■花のとう

日時:5月10日(日)11:00-18:00

場所:誓願寺(矢作町)および周辺の旧国道一号

内容:農作物の吉凶を占う400年続くといわれる伝統行事を城西高校ほか地元実行委員会が盛り上げる

■アースワーク

日時:5月1日(金)~1週間ほど

場所:矢作橋付近の矢作川右岸河川敷

内容:矢作中生徒による巨大な砂の彫刻が並ぶ

※推薦人の方から提供いただいた情報を掲載しています。ぜひおすすめの情報を下記連絡先までお寄せください。

Lecture 写真撮影ワンポイントレクチャー

岡崎百景を選定していくにあたり、写真によって印象が大きく変わります。いつ、どのような状況を、どんな角度で、どんな風景を撮影するのかご検討ください。

岡崎百景通信Vol.1では「写真に人物は写ってるか」「被写体に近づきすぎていないか」「光について、手ブレとフラッシュについて、構図について」の撮影ポイントを説明しました。

2回目となる今回は、写真の「静」と「動」について交流会の様子を撮影した2枚の写真を比べてみたいと思います。



静

河川敷を歩く人々や手前で活動する人々よりも堤防沿いに続く桜並木の景色に目が行く静的な1枚となっています。



動

河川敷を歩く女性が前面に出てくることで、桜並木が背景となり、人々の活動が強調される動的な印象を与える写真となっています。

「風景(静)」と「活動(動)」、際立たせたい内容によって被写体の大きさや前後関係を考えて撮影しましょう。

※1:写真に写り込む人物(一般人)が特定できる場合は、了解を得る必要があります。

※2:民間の建物や土地を推薦する場合は、原則的に所有者の承諾を得るようにしてください。

(ご不明な点は下記連絡先までお問い合わせください。)

岡崎百景通信 Vol.2

発行:岡崎市都市整備部都市計画課(岡崎市十王町二丁目9番地)

TEL:23-6263 FAX:23-6514 E-mail:toshikei@city.okazaki.lg.jp

発行日:平成27年5月1日